

榎原市立図書館だより

平成21年 7月 5日発行  
第16号

# 榎の樹

## 特集:

なつやすみによ  
んでほしい本

ちょっとこわいお  
はなし

## 目次:

特集1

2、3

特集2

4、5

図書館員の本棚

6

お知らせ その他

7、8



# 夏休みの特集1 「なつやすみによんでほしい本」

恒例の「季節の絵本(夏)」に加えて、自由研究や調べ学習、ゆっくりと読書の時間を楽しむのにふさわしい物語などの児童図書を集め、貸出促進展示「なつやすみによんでほしい本」を開催します。このページでご紹介できるのは、一例に過ぎません。夏休みにふさわしい良書を、他に多数準備しています。(児童班)

7月1日(水)～8月30日(日) 1F絵本展示コーナー ミニ特集「ガリレオ・ガリレイと天体」を併設します。

「アリからみると」 桑原 隆一 文 栗林 慧 写真 (福音館書店)

地面をはいまわっている、小さな小さなアリ——。そんなアリに、世界はどんな風に見えるのでしょうか？ バッタ、カブトムシ、アマガエル、トンボ……、なじみ深い小さな生き物たちが、わたしたち人間が見慣れているのとはまったく違った迫力で現れます。これまで見逃してきた生き物たちの形や色の面白さや素晴らしさに気付く一冊です。(小学校低学年向き)



「クッキーのおうさま」 竹下 文子 作 (あかね書房)

♪ わたしは クッキーのおうさまだ ホ——！  
 こんがり やけた おうさまだ ホ——！

りさちゃんが作ったクッキーのおうさまは、見るからにつよそうじゃない。けれども、けらいの「はさみ」や「ものさし」や「セロハンテープ」は、ピンチのたびに「とくいわざ」でおうさまを助けます。おうさまは、ほんとうに愛されているのです。(小学校低学年向き)



「フェアリー・レルム 金のブレスレット」 エミリー・ロッダ 著 (童心社)

おばあちゃんがけがをしたので、ジェシーは「ブルームーン館」へやってきた。でも、おばあちゃんの様子が変わってなんだか変だし、それにとっても嫌な予感がする……。おばあちゃんに代わって、小さなジェシーが妖精の国を救う冒険ファンタジーです。ひみつの裏庭、こびとのノームととがり耳のエルフ、そして邪悪な魔女……。素敵な冒険の世界へご一緒しましょう。

(小学校中学年向き)

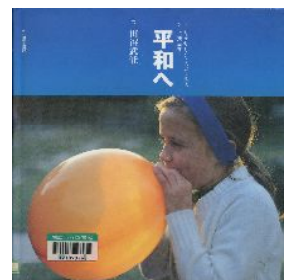


「平和へ」 キャサリン・スコールズ 他 (岩崎書店)

「平和っていうのはね、いきていくのに 必要なものが ちゃんとあることなんだ。たとえば、たべもの、水、家、着るもの、病気やけがをしたとき たすけてくれるものがあることだ」(本文より)

日本ではふつうのことが、他の国にとっては、どんなに貴重であることか……。平和の意味や尊さについて、具体的に考えさせてくれる1冊です。

(小学校中学年向き)



「おくのほそ道」 松尾芭蕉 村野 守美 漫画（学校図書）

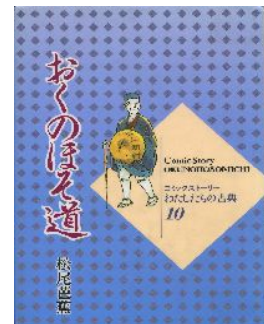
— コミックストーリー わたしたちの古典10 —

松尾芭蕉が江戸（東京）から奥州（東北）へ旅立ったのが今から約320年前のこと。その時に詠んだ俳句や旅の風情をまとめたのが「おくのほそ道」です。電車も自動車もない時代の旅と、その中で読まれた俳句というのを具体的にイメージするために、マンガ作品から選んでみました。では最後に有名な句をひとつ。

しず 閑かさや 岩にしみ入<sup>いる</sup> せみ 蟬の声



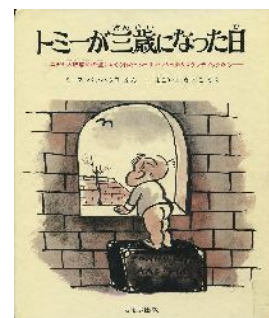
（小学校高学年向き）



「トミーが三歳になった日」 ミース・パウハウス 他（ぽるぷ出版）

— ユダヤ人収容所の壁にかくされたベジュリフ・フリッタのスケッチブックから —

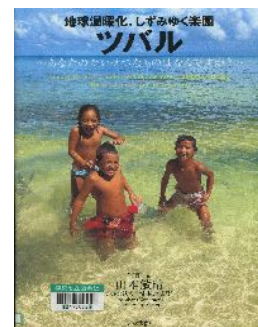
そのスケッチブックは、アンネ・フランクの日記と同様の運命をたどりました。プレゼントを用意できず、歌うことも許されない父にとって、息子の誕生日を祝うただひとつの方法が、命がけで描くことでした。父の証しであるスケッチは、トミーとともに過酷な日々を生き抜きます。戦後、掘り出されたスケッチにストーリーが付され、絵本として出版されたのが本書です。（小学校高学年向き）



「地球温暖化 しずみゆく楽園ツバル」 山本 敏晴 写真・文（小学館）

太平洋にある小さな島国、ツバル共和国。このまま地球温暖化が進むと、この島国は海に沈んでしまうとされています。ツバルの子どもたちが描いた「自分にとって大切なもの」は、日本の子どもたちが描くものとは違います。日本にいる私たちができることは何でしょう？ ツバルの将来を考えることが、日本の未来・世界の未来を考えることになるのかもしれませんが。（英語併記）

（小学校高学年・中学生向き）



ミニ特集「ガリレオ・ガリレイと天体」

今年、イタリアの科学者ガリレオ・ガリレイが初めて望遠鏡を夜空に向け、宇宙への扉を開いた1609年から400年目に当たります。国際連合、ユネスコ（国連教育科学文化機関）、国際天文学連合は、2009年を「国際天文年」と決めました。



興味深い写真が多数掲載されている岩波新書「ハッブル望遠鏡の宇宙遺産」(左)と、絵本「星の使者 ガリレオ・ガリレイ」(右)



# 夏休みの特集2

ちょっとこわいおはなし 「耳なし芳一」その他

子どもたちは、「こわいおはなし」が大好きです。図書館見学や個人利用の子どもたちから読書相談を受けると、しばしば「こわいおはなし」の要望があります。作品に込められている畏怖やうやまいの感情、未知なものに対する作者の関心や探究心にも留意しながら、「こわいおはなし」を読み進んでみてはいかがでしょうか。(児童班)

## (1)「耳なし芳一」物語と背景

1185年、壇ノ浦で平家は滅亡する。それまで力を誇っていた貴族から、新しく台頭してきた武士に時代の中心が移ってゆく。そしてそのことは、伸びてゆく者と、滅びてゆく者を生んだ。

目が見えない芳一にとって、琵琶を弾き語ることは、ただひとつの生きる糧だった。そして一心に腕をみがくことで名手となったが、その技量のすばらしさが亡霊たちを呼び寄せてしまうことになる。

物語の結末のみをとらえて、「怖いお話」「恐ろしいお話」とかたづけるだけでは、作品の魅力は半分になってしまう。ひとびとが背負ったかなしみやくるしみを理解することが、物語の味わいをより深くしてくれるのではないだろうか。



かいだんこいずみやくも  
「怪談小泉八雲のこわい話」①  
みみ ほういち くび  
耳なし芳一 ろくろ首  
こいずみ やくも  
原作 小泉 八雲  
たかむら ただのり  
絵／文 高村 忠範  
ちようぶんしゃ  
出版社 汐文社

## (2) 作者 小泉八雲について

ラフカディオ＝ハーン(1850～1904)

イギリス人を父に、ギリシャ人を母にギリシャで生まれる。アイルランドに移り、神学校などで学ぶ。13歳で左目を失明。その後、アメリカに渡り、新聞記者として働きながら日本への興味を深めた。

やがて来日し、旧制松江中学や東京帝国大学などで英語や英文学を教えながら、古くから受け継がれてきた日本の伝説や奇談を収集した。武家の娘であった小泉節子と結婚して日本に帰化した。著書「怪談」は代表作。

小泉八雲が日本へやってきた明治期は、文明開化のもと、外国の新しいものを取り入れることが勧められ、日本の古いものが見捨てられてゆく時代でもあった。そうした中で、当時のふつうの日本人とは大きく異なった経験を重ねてきた「日本人」小泉八雲は、日本の古いものの中にかくされている意味や価値を、新鮮な驚きとともに発見することができた。



にほんむかしばなしひやくせん  
「日本昔話百選」  
へん ちょ いなだ こうじ  
編著 稲田 浩二  
いなだ かずこ  
稲田 和子

しゅつばんしゃ さんせいどう  
出版社 三省堂

## (3) 榑原市立図書館が所蔵している小泉八雲に關係のある児童図書

書名		著者	出版社
伝記・人間にまなぼう	3	『怪談』をかいたイギリス人-小泉八雲	岩崎書店
怪談		小泉 八雲/著	金の星社
怪談小泉八雲のこわ～い話	1	耳なし芳一・ろくろ首	汐文社
怪談小泉八雲のこわ～い話	2	食人鬼・ムジナ・青柳ものがたり	汐文社
怪談小泉八雲のこわ～い話	3	幽霊滝の伝説・忠五郎の話・果心居士	汐文社
怪談小泉八雲のこわ～い話	4	やぶられた約束 まもられた約束 和解	汐文社
怪談小泉八雲のこわ～い話	5	雪女 ほうむられた秘密 梅津忠兵衛 常識	汐文社

## (4) 榑原市立図書館が所蔵している日本の歴史に關係のある児童図書(抜粋)

書名		著者	出版社
調べ学習日本の歴史	12	貴族の研究	ポプラ社
調べ学習日本の歴史	13	武士の研究	ポプラ社
人物・資料でよくわかる日本の歴史	4	平安時代	小和田 哲男/監修 岩崎書店
人物・資料でよくわかる日本の歴史	5	鎌倉時代	小和田 哲男/監修 岩崎書店
楽しく調べる人物図解日本の歴史	2	貴族・武士の世に活躍した人びと	佐藤 和彦/監修 あかね書房
地図でみる日本の歴史	2	飛鳥・奈良・平安時代	竹内 誠/総監修 フレーベル館
地図でみる日本の歴史	3	鎌倉・南北朝時代	竹内 誠/総監修 フレーベル館
ドラえもののびっくり日本の歴史		石器の始まりから壇ノ浦の戦い	小学館

## (5) こぼればなし

お雇い外国人であった小泉八雲の俸給は、当時の日本人教師の3倍にもなる高額でした。そのことが一因となり、やがて東京帝国大学を去ることになります。その後任となったのが夏目漱石です。

また、松尾芭蕉の俳句を初めて英訳したのも小泉八雲でした。「Old pond, frogs jumping in, sound of water」—— 古池や 蛙飛込む 水の音 ——

## 図書館員の本棚 (6)

となりあい響きあうふたつの風土

吉野の作家 **前 登志夫** と 熊野の作家 **中上 健次**

### ◆ 前 登志夫 (まえ としお) 1926～2008

吉野という風土から、何を連想することができるだろう……。隠者西行の文学、南北朝の戦乱、秀吉の豪華な花の宴、そして古代信仰に繋がる修験や霊場の世界観……。

作家前登志夫のひとと作品を想う時、「吉野の山人」という呼称が自然と口を衝く。吉野の山中で生涯の大半を過ごし、自らを「樵」とも、「山人」とも呼んだ。

かなしみは明るさゆゑにきたりけり一本の樹の翳らひにけり

「子午線の繭」所収

南朝の哀歌や万葉集の調べを、子守唄のようにして育った前登志夫にとって、生地吉野は、自らの精神を貫く脊椎のようなものだったのだろう。同時に、自己という存在を問い返してくる鏡でもあったかもしれない。都市文明への志向と、それを許さない現実の生活の中で、作家はただ独り、深夜の書齋でことばを紡ぎ続けた。その澄明な調べは、言霊となって現代社会に反響した。

### ◆ 中上 健次 (なかがみ けんじ) 1945～1992

熊野は隠国とされてきた。神武東征や歴代上皇の熊野詣など、歴史の舞台袖に、政治や宗教、文学とも密接な係わり合いを保ちながら登場してきた。熊野は日本列島の先端であると同時に、政治や文化、経済の中心を占めてきた畿内への裏側からの通路でもある。また、西国と東国を結ぶ迂回路でもある。

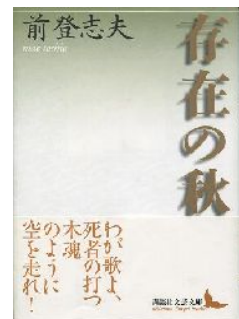
熊野出身の作家中上健次は、29歳のときに「岬」を執筆した。この作品により、戦後生まれとして初めて芥川賞を受けた後も、熊野を舞台に作品群を発表し続けた。熊野という風土を感受し、作家自身の内部の問題と深く関わらせていった。

大江健三郎は、中上健次との対談で簡潔に述べている。「あなたの出現が新鮮であるのは、あるいは確かな力を持っているのは、あなたが刻み出している、在来の文学が持っている層とは違った層の力のせいだといえるでしょう。人間的にも地理的にも」

戦後の復興から高度経済成長を経てバブルへと至る現代社会の中で、多数の日本人が見失っていったものを、作家は追究し続けた。

前 登志夫 奈良県吉野郡秋野村生まれ。旧制奈良中学、同志社大学在学中から習作を始める。1956年(30歳)詩集「宇宙驛」を出版。1964年(38歳)第一歌集「子午線の繭」を出版。1974年 金蘭短期大学助教授就任。1978年「縄文紀」により第12回迴空賞。1998年「青童子」により第49回読売文学賞。(その他受賞多数)2005年「鳥總立」により第46回毎日芸術賞。同作品とこれまでの業績により第61回日本芸術院賞、恩賜賞。日本芸術院会員。「吉野紀行」「靈異記」「存在の秋」「樹下集」「鳥獸蟲魚」など著作多数。

中上 健次 和歌山県新宮市生まれ。新宮高校卒業後、上京。「十八歳」を「文芸首都」に発表。以後、成田空港等に勤務しながら作家活動に入る。(成田空港の同僚に、無名時代のピートたけしがいた)1976年(30歳)「岬」により第74回芥川賞。1977年(31歳)「枯木灘」により毎日出版文化賞。翌年同作より芸術選奨文部大臣新人賞。「19歳の地図」「紀州 木の国・根の国物語」「鳳仙花」「千年の愉楽」「地の果て至上の時」「日輪の翼」「熊野集」「天の歌 小説都はるみ」など著作多数。



「存在の秋」  
講談社文芸文庫 他



「岬」  
文芸文庫 他

平成21年2月1日～3月29日に行った「—資料展示・所蔵図書展示 共催—  
吉野の作家 熊野の作家 前登志夫と中上健次」からの抄録です。

昆虫館サテライト企画展2009夏  
「昆虫館のチョウたち  
～その素顔にせまる！」

8月1日(土)～9月29日(火)  
2F展示コーナー



農文協

「バタフライガーデン入門」海野和男 著



実物標本を含む昆虫館の資料展に共催し、図書館所蔵の「チョウ」関連図書も展示します。自由研究や日常生活の潤いづくりのヒントとしても、ご覧いただければ幸いです。

おはなし会について

8月は、以下の通り変則になります。

休み 8月1日(土)、8月29日(土)

8月8日(土)、8月15日(土)※、8月22日(土)は、通常どおり午後3時より1Fおはなし室でおこないます。

※お盆企画「大人もいっしょに ちょっとこわいおはなし会」を予定しています。

赤ちゃん絵本のよみきかせ

毎週水曜日、午前10時から正午まで、1F赤ちゃん絵本コーナーでおこなっています。赤ちゃんと一緒にご参加ください。

差別をなくす強調月間関連資料展示  
— 暮らしの中の人権 —

7月1日(水)～7月30日(木) 2F展示コーナー

所蔵図書のなかから、「人権」について考えるヒントを集めてみました。以下の2冊はその抜粋です。

「すべてのエネルギーのうち20人が80%を使い、80人が20%を分けあっています…」  
「1人が大学の教育を受け、2人がコンピュータをもっています。けれど、14人は文字が読めません…」  
「いろいろな人がいるこの村では、あなたとは違う人を理解すること、相手があるがままに受け入れること、そしてなによりそういうことを知ることがとても大切です」 (本文より)



「世界がもし100人の村だったら」 マガジンハウス  
C ダグラス・ラミス 他

アフリカ人女性として初のノーベル賞(平和賞)受賞者となったワンガリ・マータイは、1940年ケニア共和国に生まれました。生物学者を志しナイロビ大にて博士号取得。農村の女性に植樹を通じた社会参加と平和への取り組みを提唱してきました。発展途上国を中心とする貧困の問題や持続可能な開発への試行、環境保全の問題などについて、様々な示唆に富んでいます。



「モッタйнаイで地球は緑になる」 木楽舎  
ワンガリ・マータイ 著

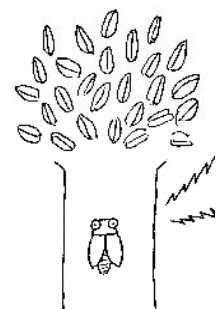
教科書展示

2F 展示コーナーで7月17日まで

現在小学校で使用している教科書や、各社の教科書見本、小・中学校の補助教材などを展示しています。(学校教育課)



閑かきや  
岩にしみ入  
蝉の声  
芭蕉



## 檜原市立図書館

〒634-0075  
檜原市小房町11-5

TEL:  
0744-29-2121

FAX:  
0744-21-1011

http:  
[//www.ksh-lib.jp/](http://www.ksh-lib.jp/)

### 編集余録

#### 吉田熙子先生の思い出

吉田先生\*の訃報に接した時、鮮やかに甦ってきた記憶があった。2年前、ストーリーテリング講習会の講師にお迎えした折のことだった。その頃、当館は子ども読書活動推進計画の策定作業を進めていた。▼個人の内面と深く関わる読書を、公務の遂行の中にどう位置付けたらよいか——。送迎の任も忘れて、助手席の先生に向けて言葉が溢れ出していた。こちらの迷いを肯定も否定もせず、穏やかな表情のまま、先生は黙って耳を傾けておられた。▼講習会の冒頭、先生は語り始められた。若年の一時期、先生は人間関係にひどく悩まれたことがあった。気が付くと、悩みの種となった相手を憎み始めている自分がいた。そうした心の在り様に愕然としたことが、ストーリーテリングと出会う契機となったことを静かに語られた。▼『計画を策定して、子どもの読書を推進するそうだが、正直に言うと私には幾ばくかの違和感がある。だが一方では、こうも考える。計画そのものに違和感があっても、そのことが契機となって、子どもたちが良き本と出会ってくれれば……』▼控えの物陰で、今度はこちらが耳を傾ける番だった。先生ほど、本と物語がもつ救済の機能を、深く理解しておられた方はなかっただろう。小柄であった先生の、時には大きな身振りも交えながら快活に受講生を導かれる姿も、もう拝見できない。ご冥福をお祈り申し上げます。

## お知らせ その他

### 図書館の利用状況

(平成20年4月1日～平成21年3月末)

登録者数	成人	2,111人
	児童	1,431人
	新規登録者数合計	2,542人
貸出数	一般書	317,173 冊
	児童書	182,592 冊
	雑誌	26,019 冊
	図書・雑誌貸出数合計	525,784 冊
	ビデオテープ	26,039 点
	DVD	1,233 点
	コンパクトディスク	28,953 点
	カセットテープ	1,091 点
予約数	一般書	9,435 冊
	児童書	1,320 冊
	雑誌	2,056 冊
	予約数合計	12,811 冊

### 図書館が所蔵する資料数

平成21年3月末現在

資料数	一般書(個人貸出用)	223,475 冊
	児童書(個人貸出用)	58,586 冊
	個人貸出用冊数合計	282,061 冊
	一般書(団体貸出用)	8,126 冊
	児童書(団体貸出用)	24,424 冊
	団体貸出用合計冊数	32,550 冊
	図書冊数合計	314,611 冊
	ビデオテープ	3,546 点
	DVD	203 点
	コンパクトディスク	4,269 点
	カセットテープ	613 点
	視聴覚資料点数合計	8,631 点
	雑誌	149 タイトル
	新聞	17 紙

\*吉田 熙子 (よしだ ひろこ)  
ストーリーテラー。学校や図書館等で読み聞かせの指導やストーリーテリングの講師を長年務め、子どもたちの読書活動に尽力。本年5月14日逝去。(72歳)

#### 表紙の写真

7月と8月、図書館は最も混雑する時期を迎えます。返却本の処理数もピークを記録することに。カウンターでの返却の他、市内に12か所ある返却ポストから、日に2回、図書を回収して処理をおこなっています。